

第10回ロボットグランプリ

ロボットグランプリは、工学技術の面白さを体験できる「知的スポーツ」として、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門が1997年から始めたロボコンである。第10回となる今大会は、中央大学理工学部キャンパス（東京都文京区）で、3月10日～11日の2日間にわたって開催された。

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁

ロボットランサー競技

黒川旭
「GodArthurL2」

優勝



ロボットスカベンジャー競技

森裕之、森弘
「必笑くんE」チーム

優勝



大道芸ロボット競技

佐藤桂太郎、後藤駿治、
小林誠治、嶋崎徹
「浦島K太郎」

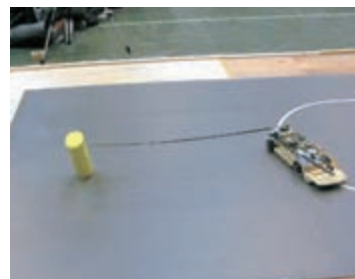
優勝



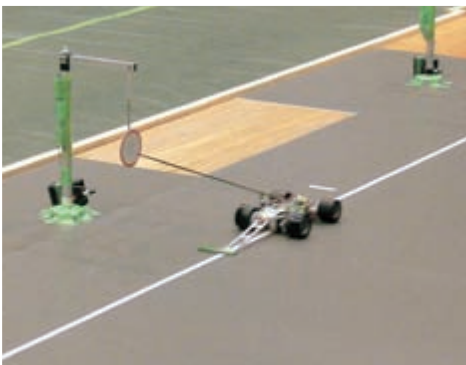
ロボットランサー競技



槍を装備した自律型のロボットランサー（槍騎兵）が、楕円コースを周回しながら、その左右に並べられている標的を突く、という競技だ。標的にはさまざまな種類があり、それぞれ得点が異なる。制限時間内に獲得した得点で勝敗が競われる。



コース両端の外側には、円柱型の標的が立てられている。これを倒すことで、それぞれ100点を獲得できる。体当たりでも、写真のように尻尾を伸ばしても、危険を伴うものでなければ、倒す方法はどのようなものでもかまわない。



ゲートの直後には、コースに平行な標的が2つ設置されている。いずれも大きさが異なり、突くことでそれぞれ40点と50点を獲得できる。

ゲートへと戻るコースには、コースに垂直な標的が4つ設置されている。やはり、いずれも大きさが異なり、突くことでそれぞれ10～40点を獲得できる。

